

和良の郷だより

薄氷号

和良おこし協議会発行



新年の和良を駆ける

ニューイヤーズマラソン開催

2022年元旦、和良町ではニューイヤーズマラソンが開催され、多くのランナーが和良のなかを駆け抜けました。



(元気よくスタートを切る参加者たち)

いお天気の様子です。気温はかなり下がっていましたが、スタート時間に近づくとも陽も出て少しく暖かくなってきました。町内外から集まった110名ほどの参加者は、スタート会場に到着して受付を済ますと、多くの方がさっそくウォーミングアップを始めます。

2022年和良町の元旦は「ニューイヤーズマラソン2022 WARA」からスタートです。雪の予報もあってコンディションを心配しましたが、昨日までの雪も降り止み、朝から

ナ感染症の影響から残念ながら中止となってしまいました。今年には関係者と団体の強い意志により開催を決定しようです。ですが、まだまだ感染症の影響が心配されるため、いつも通り

昨年は新型コロナ

とはいきません。例年であれば提供されるふるまいのおしるこや豚汁は無しとなり、時短での開催となりました。スタートの発砲音とともにまずは5キロコース、少し時間を空けてから2.5キロコースがスタートしたかと思うと、あっという間に5キロコースの参加者がゴールに向けて勢いよく飛び込んできました。



(雪が残る和良町のなかを駆け抜ける参加者たち)



毎年ご参加いただいている明るく楽しいご家族や、故郷に帰省中の方、市内から、また市外からのご参加もありました。入賞された方々には後

日賞状と盾が送られるようです。皆さんおめでとござい

ます。そして、この日の締めは郡上東中学校生徒さん達による和太鼓演奏でした。寒い中でしたが、とてもかっこ良く演奏されておりました。



(和太鼓演奏の様子)

SDGs カードゲーム開催

12月10日(金)、ファシリテーターに松井隆浩さんをお迎えし、「SDGs de 地方創生カードゲーム」を開催しました。このカードゲームはゲームをしながら少子高齢化など、日本が抱える課題の解決を皆で考えることのできるものです。

ゲームの舞台は岐阜市などの中堅都市が設定されました。参加者達はそれぞれに「行政

担当者」「経営者」などの役割が与えられ、プロジェクト、お金、資源カードが配られます。手持ちのカードを使ったり、カード交換したりしながら、各自の目標を達成するようゲームを進めます。

ゲーム終了後、振り返りながら、「これまでで一番住みやすかった場所は？」などの質問に答える形式で民間と行政の役割の違いなどについて全員で話し合いました。

持続可能な地域づくりの取り組みに関しては、以前からも取り組まれてきていますが、地域の人が関心をもって参画していくことで、課題認識が共有されていくものだと思います。今回のカードゲームもそのきっかけのひとつとして活用できると感じました。

これからもご要望がありましたら、和良町内で開催しますので、興味のある方や団体さんからの声がけをお待ちしております。



(ゲームに熱中している様子)

新春超スベシヤル 音もダチシヨール♪

1月14日(金曜日)の夜はタイトルにもあるように超スベシヤルでした。こんなに素敵なアーティスト達が一堂に集う企画はこの先あるのだろうかという日だったのに、前日から珍しく大雪になりました。そんな雪で移動も困難ななか、雪道の運転は初心者のアーティストさんも頑張ってたて来てくれました。

さて、リハから楽しみでワクワクしていたのですが、本番に入ると本当に庄巻のステージが始まりました。いつも富安秀行さんの演奏はまるで落語を聴くかのようになり引き込まれるのですが、この日もやっぱり始まってすぐに富安さんの世界に誘われていきます。そこから各アーティストさんのソロとアシストが入っての自身の曲の演奏があり、順にバトンが渡っていきます。

山本太郎さんのクラリネットは吐息の向こうから柔らかなで繊細な音が聴こえてきます。丹菊正和さんのパーカッションとドラムのリズムとテクニクはさすがプロ!!というならせてもらいましたし、加えてコーラスの声も艶々です。田ノ岡三郎さんのアコーディオンにも圧倒されまくりです。これがアコーディオンの演奏なのかと、凄すぎてわけが分からないほどです。清水明日香さんのピアノののってる歌声は繊細で優しいのでストリートに心に響きます。そして、武田朋子さんの篠笛の音色は澄んでいて力強く、そして彼方から聴こえてく

るかのような低音が素敵です。そんなみなさんによる演奏に圧倒されないわけがありません。外は雪で極寒でしたが、会場ではとても熱いステージを体験させていただきました。アンコール曲はもちろんあの曲です。富安さんが和良の移住にインスピレーションを受けて作ってくれた移住の応援ソング「新田舎生活物語〜良い塩梅の田舎で暮らそう〜」で、庄巻のステージの幕が下りました。
(庄巻のステージの様子)



北海道大学 林ゼミ 卒論・修論発表会

1月22日(土曜日)は、北海道大学林ゼミの学生さんたちが「わらおこし」にて卒業論文、修士論文、地域研究の発表会を行いました。これは、大学生の研究から地域づくりに関する知見やヒントを得て、地域づくりを改めて考える機会となります。林先生は以前は岐阜大学におられて、和良での地域実習や卒論発表会を開催していただいております。現在は北海道大学へ移るの地域づくりへのご指導をいただいております。

この日の発表者は学生さん6名と、林先生のミニ講義でした。午後1時開始で5時終了を予定しておりましたが、活発な意見交換もあり、午後5時半ごろに終了となりました。長時間となりましたが、みなさんにはお付き合いいただき、大変有意義な時間となりました。発表内容をまとめたものは「わらおこし」にてご覧いただけますので、ご興味のある方はお気軽にお越しただけらと思っております。



(林先生、学生さんと発表会)

イベント掲示板

鬼頭つくる
Tsukuru Kikumoto Live!

2022.2.4(Fri) 19:30 Start
Music Charge 投げ銭, Drink 持ち込み可
わらおこし: 岐阜県郡上市和良町下洞554

OA: MWF(マズミwithフオーキー)
【鬼頭つくる プロフィール】
1981年 18歳のときに東京に離れ、名古屋から上京のはずが行き過ぎて埼玉に住む。以後現在までさいたま市(浦和)在住。
母親の影響で子供の頃からスタンダードジャズなど洋楽を耳にする。中高時代のロックにはまる。数々のロック系のバンド活動の後、02年辺りからセッションに傾く。書き語りを始める。
99年にMOONEY氏と出会い、影響を受け現在のスタイルに落ち着く。ジャズ、フォーク、ロックなどアメリカ的力強い音に等身大の歌詞をのせたオリジナルやその辺りのカバーを好んで歌う。

市民協働センター 出張相談会 in和良

と き: 2月21日(水)
午前10時~午後3時
ところ: わらおこし (下洞554)
相談員: 市民協働センター 興膳健太センター長

和良町の人口

令和4年1月1日現在 (カッコ内は前月比)

